

新コンセプトの シニアアマンションで 豊かなリタイアメントライフを

急速に進む日本の高齢化。豊かなリタイアメントライフにふさわしい空間づくりを事業化した企業がある。それが(株)ハーフ・センチュリー・モア。三木得五郎社長にお話を伺った。



わが国の総人口は1億2806万人※1。うち65歳以上の高齢者人口は2958万人で、総人口に占める割合は23.1%。今後、総人口が減少するなかで、高齢化率は上昇し続け、2055年には40.5%に達し、2.5人にひとりが65歳以上になるとい

先進国なかでも、驚異的に高齢化が進む日本だが、国の対策ははかばかしくはない。そんな日本の現状を憂い、いち早く斬新な視点で高齢者事業に乗り出したのが(株)ハーフ・センチュリー・モアである。三木得五郎社長に、まず事業を思いつかれたきっかけをうかがった。

「日本で『高齢者対策』が始まったのは、1981年に発足した土光臨調(第二次臨時行政調査会)なんです。しかし、高齢者といってもひとくくりになんかできない。私の父が78歳の時に脳出血で倒れ、一命をとりとめたものの、左脳をやられた後遺症で、いわゆる認知症状態になったんです。

徘徊もあったので、当時は受け入れてくれる病院がなかなか見つからず、最後は精神科の専門病院に入院し、5カ月後に亡くなりました。その後、認知症は人間の持つ知、情、意の「知」の部分が機能しなくなるだけで、相応のプライドや意志もちゃんとあり、ただそれを伝えられないだけだと知りました。社会的にもそれなりの地位にあった父はプライドが高かったため、数千人もの大部屋での生活や処遇に耐えられなかったのでしょう。亡くなった時のくやしそうな顔が忘れられません。たとえ認知症になろうと、寝たきりになろうと、その人なりのプライドを保てる最後をおくれる場所をつくりたい。そんな気持ちが高まってきた頃、(株)ハーフ・センチュリー・モアの

会長を務める金澤に出会い、『サンシティ』の事業を始めることができたのです」
**元気なうちから始める
自分らしい暮らし**

銀座から湾岸に向かった、勝どき橋からほど近いところにある『サンシティ銀座EAST』は3階建ての高層マンション。エントランスを入ると、そこは吹き抜けるライブラリー。重厚でありながら、心地よく寛げるインテリアはアメリカ人デザイナーの手によるもの。湾岸の景色や東京スカイツリーを望む眺めのいい居室だけでなく、共有スペースがふんだんに設けられているのも、サンシティの特長だ。広々とした大浴場、温水プール、バーラウンジやカフェ、クリニックまで併設されている。

1987(昭和62)年の創業当時は、バブル経済のまっただなか。大手企業が高齢者事業に乗り出し始めていたが、いずれも本業ではない。高齢者用の施設では人の生命を預かるので、専業で取り組むべき。そんな思いをこめて、元銀行員の三木氏は、仕事で付き合いのあった企業を回って出資を募り、銀行や損保、メーカーなど日本を代表する約100社の出資をとりつけ、資本金120億円、無借金で事業を興し、この安定した経営体制は、創業から25年たった現在も維持されている。

「お手本にしたのはCCRC※2というアメリカでのリタイアメントライフの考え方です。まだ元気な時に、将来的なケアを保証された新たな住処に移り、そこで自分の趣味嗜好に見合った生活を快適に送りながら年を重ねる。顔なじみのスタッフに囲まれて、介護が必要になったら、介護居室

に移り、安心して過す。そんな暮らし方を実現したかったんです」

こんな三木社長の思いが実現したサンシティは現在、関東圏に9カ所、近畿圏4カ所を展開し、来年には『サンシティ横浜南』、2015年には『サンシティ立川』の新規オープンを予定している。

「シエクスピアの『終わりなければすべてよし』という言葉通り、人間は亡くなる30分前に『幸せ』だと思えないと、幸せな人生を送ったと言えません。人生100年時代。リタイア年齢の65歳なんて、まだ折り返し地点。充実した後半戦を送って頂ける新たなサンシティを、これからもどんどんつくっていきましょう」

『サンシティ横浜南』は『サンシティ横浜(05年オープン)』に隣接して建設中だという。広大な自然に恵まれた現地を一度訪ねてみてはいかがだろうか。

Column

心強い医療支援と介護体制

サンシティでは日々の健康管理や年1回の定期健康診断、人間ドックまで受けられる。また、大学病院をはじめ、近隣の複数の医療機関と医療協力を提携しているのも心強い。自立型で入居した後、介護が必要な状態になった場合は、住み替えなどの追加費用負担なしに介護居室に移ることができる。なじんだ場所で生涯安心して過ごせる幸せは、サンシティの入居者に与えられる特権だ。



『サンシティ銀座EAST』のハーバービューダイニング。まるでホテルのレストランのようなダイニングは、予約なしで、趣向豊かなメニューを選べる「セレクトメニュー」スタイル。

『サンシティ横浜』の外観と庭

『サンシティ柏』の居室

『サンシティ吉祥寺』のプール



『サンシティ銀座EAST』のライブラリーにて。ハーフ・センチュリー・モア三木得五郎社長。